

# 美術研究所報

## 研究会

昭和四十三年

三月廿七日	東寺講堂五菩薩をめぐる問題	高田修
四月三日	張四教筆新羅山人肖像—華岳伝記の一資料—	川上涇
四月十日	仁平三年銘普賢延命像	柳沢孝
四月廿四日	目連救母説話とその絵画	宮次男
五月十五日	薰源と巨然	戸田禎佑
六月十二日	東京都下の工芸品	中川千咲
六月十九日	曾我蕭白の伝記及び作品について	辻惟雄
七月十日	観心寺の諸像について	久野健
七月十七日	宗俊本一遍上人絵詞伝の成立と現存諸本について	宮次男
九月廿五日	僧房と仏塔	高田修
十月二日	最近の若草伽藍跡発掘について	工藤圭章
昭和四十四年		
一月廿二日	イペリア紀行(一)	坂本満
二月十二日	イペリア紀行(二)	坂本満
二月十九日	定家書写記録切三種について	田村悦子
三月五日	李公麟孝経図巻と伝馬遠西園雅集図巻	戸田禎佑

## 美術部研究員海外出張

柳沢孝は昭和四十三年十一月六日より四十四年一月十日まで、米国各地美術館に収蔵される日本絵画、とくに仏画の重要遺品の調査並びに燉煌の仏画(大英博物館、ギメ東洋美術館、ベルリン国立博物館、ニューデリー国立博物館所在)の調査のため、アメリカ、連合王国、フランス、ドイツ、インドに出張した。

## 東京国立文化財研究所美術部(美術研究所)所員異動

前美術部長高田修は、昭和四十四年三月三十一日、東北大学教授に転任し、四月一日付にて資料室長中川千咲が美術部長に昇任した。第一研究室長川上涇が資料室長に、美術部主任研究員久野健が第一研究室長に昇任した。

## 第三回東京国立文化財研究所美術部公開学術講座の開催

昭和四十三年十二月四日(水)午後六時より、日本経済新聞社九階小ホールにおいて左記の演題及び講師により美術部公開学術講座を行った。

明治初期の洋画

岡 畏三郎

明清の文人画

川上 涇

## 「日本東洋古美術文献目録」の刊行

昭和十一年より四十年までの定期刊行物所載の日本東洋古美術文献目録は、昭和四十四年三月二十日刊行された。本書の編纂には資料室が主にその任にあたった。

## 「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」昭和四十三年版(昭和四十二年一月から十二月の間の記事)は昭和四十四年三月二十九日に刊行された。